

# 実力・実績は福岡県内トップクラス 総合建設業者としてさらなる高みを目指す

昭和41年に創業された安達建設。平成2年には法人化を果たし、順調に発展を遂げてきた。一般住宅の建設・販売、土木工事などを手掛ける同社は、福岡県の建設業者の中でも高い評価を得ており、公共事業にも多数参加している。「他社との差別化を図り、当社ならではの魅力的な住宅を提供していくつもりです」と語る2代目安達社長に、俳優の佐藤蛾次郎氏がお話を伺った。

佐藤 まずは、御社の沿革からお聞かせください。

安達 父である現会長が昭和41年に創業し、当初は在来工法による一般住宅の建設・販売を手掛けていました。その後、平成2年に法人化を遂げ、現在は住宅に加えて土木工事なども行っています。当社で特に力を入れているのが分譲住宅。土地を自社で購入し、宅地として造成した後に住宅を建て、分譲住宅として販売しています。

佐藤 順調に発展してきたようですが、社長が現職に就かれたのはいつのことでしょう。

安達 平成10年です。当時、私はまだ33歳で、会長も元気でしたから、早過ぎるのではないかと思います。実際、公共事業の入札に参加して周囲を見回しても大先輩方ばかり。しかし、早い時期での譲渡は会長なりに考えがあったことでした。元気なうちに後任に引き継ぎ、教えるべきことを早めに教える。そしてどんどん重要な仕事を任せて、万が一失敗したらフォローする。経営者として必要なものを身に付ける一番の近道は、経験することだと会長は考えていたようで



代表取締役 **安達 輝史**

ゲスト **佐藤 蛾次郎**

すね。現在も会長が後に控えているからこそ、思い切りやれるという部分はありますが、会長に追いつけ追い越せの気持ちで一層努力していくつもりです。

佐藤 実践でしか得られないことは多いですものね。では、社長に代替わりされて変わった点などがあれば、教えてください。

安達 現在従業員は約20名在籍していますが、それぞれ価値観も違えば考え方も違うもの。従業員から意見を聞き、皆

の考えを取り入れつつ、会社の方針を決めるようになりました。

佐藤 最後に、今後の展望についてお伺いできますか。

安達 従業員には常日頃から、価値のある住宅とは何か考えるように話しています。不況が長引く現在、高いものはなかなか売れません。ですが、本当に良い物には少々お金をはたいても構わないと考える人は大勢いらっしゃるでしょう。今後はこれまで以上に同業他社との差別化を図り、当社ならではの快適に暮らせる住宅を提供していくつもりです。人材育成に努めつつ、自社物件を改善・改良して魅力的な住宅を開発していければ、不況であっても、さらなる成長を遂げることができると信じています。

佐藤 今後益々のご活躍をお祈りします。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。

(取材/平成14年10月)



**安達建設 株式会社**

宅地建物取引業(福岡県知事免許(3)11836号)  
県知事許可(特12)第65588号

本社 福岡県筑後市大字熊野 1240-39

TEL 0942-52-5038 / FAX 0942-52-7420